

発行にあたって

宮崎県は、温暖な気候、明るい太陽、青い空と海、そして緑広がる大地に、多様な生物相が織りなし、私たち県民にとっても快適で住みよい豊かな自然環境を有しています。

その一方で、本県は、台風や梅雨等により大雨が降りやすい地域であるため、度々浸水による被害を受けてきました。

このため、県民の生命や財産を守るために、従来から河川改修を行ってきましたが、川と人とのかかわりが希薄となったことも事実であります。

私たちは、まず、この現状をしっかりと受け止めなければなりません。そして、大昔から、人々は川と向き合うことで、自然環境に対する畏敬の念や生命の尊さを学んできたこと、また、川が地域住民にとって貴重な交流の場として地域の歴史・文化を育んできたことを再認識し、このような川と人とのかかわりを復活し、次世代に引き継いでいく必要があります。

このようなことから、県では、このたび、「川と人との良好なかかわりの再構築」を目指して、県の北部を流れる二級水系耳川について、人々の暮らし、歴史、文化、自然環境をまとめた「耳川百科」を作成しました。

編さんに当たりましては、「耳川の歴史と文化を語る会」をはじめとして、多くの皆様に多大な御尽力をいただき、また、アドバイザーの方々には専門的観点から御指導、御協力をいただきました。ここに、厚くお礼を申し上げます。

本書を通じて、21世紀を担う子供達がますます川に親しみ楽しめるようになり、さらには、県民の皆様が川を一層身近に感じていただくことにより、「川に学ぶ」社会の実現のための一助となれば幸いです。

平成13年9月

宮崎県知事 松形 祐堯

